

学びを保障する授業設計支援システムの開発と評価方法の研究開発
～活動ユニットを活用した総合的な学習の時間の構想～

共同研究

氷上情報教育研究会

代表 芦 田 繁 昭

要約

児童一人ひとりに情報活用の実践力を確実に身につけさせる取り組みが、各教科や総合的な学習の時間で実践されている。しかし、学校現場では、学級担任が1年間で替わることや、個々の教師がねらいを共有することができないため、6年間を見通した育ちを保障しにくい。そこで本研究では、6年間の学びを保障するため、育てたい力をうまくデザインした授業設計書の作成や、各学年のねらいや達成度が教職員間で共有できるシステム開発と運用を目指した。さらに、児童の学びを保障するためには、ねらいに対する教師の的確な評価と、児童自身の自己評価が重要であることから、今回は、「ルブリック(評価指標)」の開発を試みた。活用については、教師と児童が目標を共有しながら学習が進められるようにするため、教師用ルブリックだけでなく、子どもたちにも具体的で分かりやすい言葉に置き換えた子ども用ルブリックも活用した。本稿では、その研究成果の一端を今後の方向性を含めて報告する。

勤務先

兵庫県氷上郡柏原町柏原683

柏原町立崇広小学校